

モテる人とはどのような人!?

唐突に質問するが、「モテる人」とはどのような人であろうか?

私(三倉先生)のところには、生徒から大人まで幅広い年齢層の人たちが、いろいろな種類の悩み相談に来る。自分・親・子ども・家族・人間関係・気になっている人・恋愛・勉強・部活動・進路・仕事・お金・健康・体・性格…、そのうちの8割は恋愛相談である。どの年齢になっても、恋愛というのは欠くことのできない悩みなのであろう。

そこで同じことを質問するが、「モテる人」とはどのような人であろうか?

自分にとっての「モテる人」とはどのような人なのか、できるだけ例を挙げてみてほしい。イケメン、カッコいい、美人、かわいい、スタイルが良い、頭が良い、運動神経が良い、性格が良い、優しい、雰囲気柔らかい、ミステリアス、夢を追いかけている、笑顔がステキ、声がステキ、肌が綺麗、髪が綺麗、オシャレ、話がおもしろい、話が合う、趣味が合う、歌が上手い、料理ができる…など様々挙げられる。これらは人によってまちまちであり、周りが持っている感覚と自分が持っている感覚は違うものだ。いろいろな好みがあるからこそ、数多くの恋愛があるわけだ。

改めて「モテる人」とはどのような人であろうか?

逆説的に考えてみる。2年生252人中、「心の狭い人」と答えた人は1人もいないのではなかろうか?つまり、「心の狭い人」はモテない人であり、「心の広い人」こそがモテる人ということになる。

では、「心の広い人」とはどのような人であろうか?

「心の広い人」とは、「目の前にあることや人から言われたことを、素直に受け入れようとする人」ではないであろうか?もちろん、誰にでも得意・不得意はある。自分のこれまでの経験から、「それは苦手だな…。きっとできないな…。」と推測できても、「どれだけできるか分からないけれど、とりあえず言われた通りにやってみよう!」「真似して吸収してみよう!」「将来役に立つか分からないけれど、学べるだけ学んでみよう!」と思って行動に移せる人が、「心の広い人」なのではなかろうか?

「誰かが自分のために言ってくれたことを、『否定』ではなく『感謝』として受け取れる人」こそ「心の広い人」であり、「モテる人」である。

多感な高校生の時期に、注意されることや厳しい言い方で怒られることもある。嫌な思いをした分、「自分は否定された」と勘違いして、それをすぐさま跳ね返すかのように「はあ!?うざっ!」「マジできもっ!」と口にする人が(大人になっても)いるが、そのような光景を見るたびに、「この人はモテない心の乏しい人だなあ」と私は内心想ってしまうのだ。相手は、あなたを否定するために言っているのではない。あなたを良くするために言っているのだ。気に食わない言い方や、分かりづらい言い方、その時の自分の心に寄り添ってくれない言い方もあるだろう。しかし、言われなくなったら、それは「言われなくても十分にできている」の良い意味か、または「言っても聞く耳持たずで、言うだけ無駄だから放っておかれている」の良くない意味か、両極なのだ。どちらの意味なのか、受け取る本人が一番分かっているであろう。

また、言ってくれている相手は、「個人的な思い」だけで言っているとは限らない。「立場上」で言っていることもあれば、「経験上」言っていることだってあるはずだ。本当はそうは思っていないけれど相手のために言うこともあれば、長年の経験から生まれた貴重な価値ある体験談として言ってくれていることもありうるのだ。

常に人の言うことを聞かない相手の言葉を無下にする人と、常に相手の言葉を受け入れようとする人には、どれだけの差が生まれるか考えたことがあるだろうか?

仮に10個のことを言われたとして、「10個とも受け入れない」or「10個とも受け入れる」には、1個目を受け入れない or 受け入れるの2通り、2個目を受け入れない or 受け入れるの2通り、3個目を受け入れない or 受け入れるの2通り、…、10個目を受け入れない or 受け入れるの2通りで、これらは1年の時の数学で学んだ積の法則から $2 \times 2 \times 2 \times 2 \times 2$

$2 \times 2 \times 2 \times 2 \times 2 = 1024$ 通りの受け入れ方があり、「10個とも受け入れない」or「10個とも受け入れる」には、1023もの差がつくということになる。だから、「常にどのようなスタンス(姿勢、立場)でいるか」は、人の成長において、とてつもなく大きな差をつける要因になる。

世の中のニュースを見ていると、「その年齢で何をやっているのだ!？」と思われるようなことが起きることがあるが、きっとそれは、その人が「自分で何に気づき、どのように行動してきたのか」の積み重ねが足りなかったのだと思う。結局は自分で気付くしかないのだ。言葉を受け入れなければ、その人に必要となるであろう新しい言葉たちもやって来ない。来年成人になるみんなは、「素直に受け入れる」スタンスでいるだろうか？

心の狭い人は、誰からもモテない。男女問わず、友達や先輩や後輩や上司や部下からもだ。勉強が苦手でも、勉強を通して、その勉強内容だけでなく、「素直に受け入れよう」とする訓練もできる。一石二鳥なのだ。いや、勉強する姿勢があれば、受け入れる訓練もでき、容量も増え、また新しいことにも挑戦しようとする気力も増え、いろいろ学べて、新たな可能性に気づき、どんどんモテる人になり、一石七鳥くらいになれる。

3年生の進路の推薦会議で、成績の差がわずか0.1で落選してしまう生徒がいる。「3年になってから頑張ればいいや。」なのか、「今のうちから積み重ねないとまずい!」なのか、どのように思うのかはみんな次第であるが、何故この文章を書いたのか、モテることと進路や勉強と何の関係があるのか?と思ったかも知れないが、何を伝えたかったのかをそれぞれに感じて行動に移してほしい。自業自得、因果応報、誠実・勤勉・礼節。意味を深く考えてほしい。今の自分が、未来の自分へ繋がるのだから。

先生方からのメッセージ「受験勉強」

～英語科 飯尾晃宏先生より～

大学受験で必要な科目において、点数を取るために実践した方法を教えます。たとえば数学です。2年生の秋に総合参考書を1冊買ってきて、第一章から最後の章まで全部勉強しました。章の初めて単元の大枠を理解し、例題を解いてから全ての練習問題を解きました。1冊を終えるのにかかった期間は3か月でした。お陰で(自分の努力の成果で)数学Iという科目で200満点中195点を取ることがデキタ!クラスメイトが「飯尾がそんなに得点するなんてウソだろ?!」って言っていました。ハハハ。

それと同時期に化学と生物も同じ方法で受験勉強して、何とか3年生冬の受験に間に合いました。1つの科目で高得点を目指すのであれば、その科目を体系的に理解して、しかも実践問題を解き慣れている必要があります。学校の授業や定期テストで頑張ると同時に、受験対策を始める時期が2年生であればすでに来ています。

高校時代に苦勞すれば、その努力は10年後には何倍、何十倍にもなって報われます。あなた自身にとって最高の進路を目指してください。

2学期中間テスト日程

	10月11日(水)			10月12日(木)			10月13日(金)		
	1	2	3	1	2	3	1	2	
文系	生物基礎	英コII	古典探求	論表II	国語	公共・地理	日世探	数学II	(情報) ※ある人
理系	物理/生物	英コII		論表II	国語	公共・地理	化学	数学II	(情報) ※ある人